

組回覧

【令和7年12月26日】



日野町青少年育成町民会議会報 第66号（令和8年1月）
発行者 日野町青少年育成町民会議
会長 安藤 宜保
(日野町教育委員会事務局 生涯学習課内)
〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地
☎ 0748-52-6566
✉ kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp

届け 私たちの想い 「令和7年度 ひのっこ大会 ～日野町青少年意見発表大会～」を開催しました



令和7年11月24日（月・祝）、町民会館わたむきホール虹大ホールにおいて、「ひのっこ大会～日野町青少年意見発表大会～」を開催しました。

当日は、町内小学生から高校生まで総勢10名の方が、300名を超える観覧者の前で自らの想いを伝えました。今年度は、ひのっこ宣言の中から一つのテーマを選び、それにちなんだ発表をしていただきました。

また、観覧者の方に一番印象に残った発表をアンケートに記入いただき、最も多かった発表者を「オーディエンス賞」として選定しました。今年のオーディエンス賞の発表全文を裏面に掲載しています。
なお発表者全員の作文は、日野町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

こちらから発表内容を

ご覧いただけます ⇒



【日野町ホームページ】

意見発表大会 発表者・司会者一覧（発表順）

大西 かこ(おおにしあこ)さん	日野小学校6年	「きく」という思いやり
大道 喜隼(だいどう きはや)さん	桜谷小学校6年	助け合いとは
山田 一稀(やまだ いつき)さん	西大路小学校6年	チャレンジすることの大切さ
木村 莉里花(きむら りりか)さん	南比都佐小学校6年	なりたい私であるために
野沢 結心(のざわ ゆあ)さん	必佐小学校6年	友だちのこと
吉川 煌人(よしかわ きらと)さん	日野中学校1年	幸せな世の中を目指して
鈴木 萌杏(すずき もあ)さん	日野中学校2年	挨拶を言葉にする大切さ
佐々木 美緒(ささき みお)さん	日野中学校3年	人の内面の深い理解
市川 美心(いちかわ みこ)さん	日野高等学校1年	チャレンジは自分を成長させる
藤澤 大和(ふじさわ やまと)さん	日野高等学校3年	前向きに輝ける自分であるために
高井 快二(たかい かいじ)さん	司会者	
小崎 太陽(おざき たいよう)さん	日野高等学校 生徒会執行部	

顕彰者表彰

地域や現場等で積極的な活動を行い、その業績が顕著な青少年団体、個人、リーダー等を顕彰し表彰します。

「ひのっこ宣言」の策定に携わってくれたみなさん

ひのっこ宣言とは、子どもも大人も含めた町民みんなが気持ちよく暮らすための「合言葉」として日野町が策定したもので、今年3月に開催された町村合併70周年記念式典にて発表されました。

みなさんは大人と子どもが集うワークショップに参加し、子どもメンバーとして様々な意見を出し合うことで、ひのっこ宣言の策定に大きく貢献されましたので、表彰しました。

顕彰者一覧

にしたに 西谷	まいこう 米功	さん	かわしま 川嶋	るな	さん	もりもと 森本	ごくう 悟空	さん	なかもり 中森	みひと 心仁	さん	ささきみお 佐々木美緒	さん	
はぐろ 歯黒	かなみ 叶実	さん	やまだ 山田	あやの 彩乃	さん	こもり 小森	おとは 音芭	さん	なつか 長東	さくら	さん	いわもと 岩本	のぞみ 希望	さん
たなか 田中	はんな 絆菜	さん	くぼた 久保田	はな 花	さん	すみ 隅	こはる 湖春	さん	なかにし 中西	りゅうと 龍斗	さん	やました 山下	そうと 想人	さん
やまだ 山田	はるき 悠稀	さん	やすだ 安田	こうた 昂汰	さん	なかにし 中西	ひな 姫花	さん						



【ひのっこ宣言 ~ひのっこが よりよい日野町 つくります!~】

- あいさつで つながる心 いい笑顔
- きいてみよう 自分のきもちと 相手のおもい
- 楽しもう どうせやるなら よろこんで
- チャレンジを やらへんなんて もったいない
- しっぱいも 「かまへん かまへん だんないで」
- だれとでも たよりたよられ 助け合い



西大路小学校の増田久実子教頭先生に、「♪ひのっこ宣言のうた♪」を作曲していただきました。
これから、様々な場で広げていく予定です♪



オーディエンス賞

「助け合いとは」

桜谷小学校 6年 大道 喜隼(だいどう きはや)さん



ぼくには苦手なことがたくさんあります。ぼくは、体を上手く使うことが苦手です。それを知ったのは二年生の時です。体の使い方が不器用だと自覚してからも大変なことはあるけれど、ぼくはあまり困ったと思うことはありません。なぜなら、周りに助けてくれる人がいるからです。ぼくが一番苦手なことは手先を使うことです。ひも結びは難しいものの一つです。桜谷小学校では運動会の時、頭にはちまきを巻きます。みんなは後ろで上手にちゅう結びをしているけれど、ぼくがすると絶対に落ちてきます。出番までに結ばないといけない時はあせってしまって、かた結びさえできません。先生は「練習してね。」と言うけれど、毎年大変な思いをしています。

でも、ぼくには助けてくれる人がいます。ある人はイスにはちまきを結んで、休み時間に結び方を教えてくれました。練習して結べるようになっても、形が変になる時があります。そんな時は見かけた友だちが後ろから形を整えてくれました。ぼくも時間が無くて結べない時は素直に「ごめん、結んでくれない。」とお願いします。友だちは「いいよ。」と言って結んでくれます。誰にも「何でできないの。」とか「自分でしなよ。」と言われたことはありません。

六年生になってから、陸上教室に通い始めました。ぼくは、走ることが得意ではありません。体験会に行った時、やってみたいと

思ったけど、まだ迷っていたら、友だちが「走るのは一人だから速くてもおそくてもいいと思うよ。一緒に走ろう。」と言ってくれました。ぼくは、この言葉で勇気が出たし、悩んでいたので助かりました。

この経験から、行動するだけではなく、声をかけることでも助けることができるんだと思いました。ぼくはたくさん助けてもらっているので、ぼくが助けていることを思い出してみようとしたが、よく思い出せません。ぼくは助けてもらっているばかりなのかと、家族に聞いてみました。すると、「助けてあげたことは覚えてない方がいいよ。」と言われました。助けてあげたことを覚えていると、「あの時は、こんなことをしてあげたのに。」と言う気持ちになるからだそうです。確かにそんな気持ちになるなら、助けたことにならないと思います。

桜谷小学校では「ポジポジさん」の取組があります。「ポジポジさん」は、人のいいところを紙に書いて紹介していくものです。ぼくも低学年の子から「困っている時に優しく助けてくれた。」と書いてもらったことがあります。



ぼくにとっては声をかけただけで、助けたと思っていなかったので、「こんなことでも助けになったんだ、うれしいな。」と思いました。知らないうちに誰かの助けになったり、誰かから助けられたりしているんだと感じました。

ぼくにはたくさん苦手なことがあって大変だけど、それ以上に楽しく生活できているのは『だれとでも たよりたよられ 助け合い』があるからだと思います。普段このひのっ子宣言を考えながら行動しているわけではありません。なぜなら『たよりたよられ』は人の優しさや相手を思う気持ちで普通におこなわれていることだと思うからです。ぼくの不器用さも個性です。

ぼくだけではなく、みんなそれぞれ得意、不得意があります。全部を完璧にできる人はいないから、できないことがあっても恥ずかしくはありません。「お願い。」「いいよ。」「ありがとう。」と、周りの力を借りるとできることがあります。

助け合うことは、当たり前のことです。お互い様だから「全然いいよ。」と言える人たちがたくさん周りにいることは素晴らしいと思います。ぼくは、助けてもらったことを忘れないで、困っている人がいたら自分から手を貸してあげたいです。ぼくができるることは小さいかもしれません、小さな力が集まれば大きな力となって助けることができます。そして助け合いの輪をつなげていきたいです。

アトラクション　日野中学校音楽部のみなさん

「愛をこめて花束を」や「銀河鉄道999」など、素晴らしい合唱を発表していただきました。

当日アンケートより

- ♪感動しました ♪勇気をいただきました ♪すてきなハーモニーでした
- ♪プロのような歌唱力でびっくりしました ♪来年も聴きたいです
- ♪中学校の合唱コンクールを懐かしく想い出しました ♪泣けました
- ♪楽しませてもらいました

